

漁業の知識深める

舞鶴の
吉原小

京大実験所など見学

舞鶴市東吉原の吉原小の
魚の住む環境について学ば

うと、京都大農学研究科附
属水産実験所(同市長浜)

五、六年生三十七人が十日、
魚の住む環境について学ば
うと、京都大農学研究科附
属水産実験所(同市長浜)

など、舞鶴、富津両市内の

漁業関連施設四カ所を見学

した。

漁業の盛んな地区にあ

る同小は、昨年から総合

的な学習として水を取り

巻く環境問題について学

んでいた。六年生は舞鶴

市海づくり少年団の活動

の一環としても、漁業に

ついての知識を深めよう

と行った。

この日は、バスで同実験

所や宮津市小田宿野の府

所丹後魚つ知館などを巡
った。同実験所では、益田玲爾
助手が、設備や研究内容を
説明。漁業者の子どもたちも多
く、「カニの養殖研究はし
ていますか」「疑似餌は環
境に影響を与えますか」な
ど、興味津々で次々と質問
したり、メモを取ったりし
ていた。



研究者から話を聞く子どもたち
(京都大農学研究科附属水産実験所)